

しもほんごうみどりかい

下本郷水土里会（上田市）

・組織の活動面積 A = 16,51 ha	組織形態	農地維持 <input checked="" type="checkbox"/>	資源向上(共同) <input checked="" type="checkbox"/>	資源向上(長寿命化) <input type="checkbox"/>
・組織の構成員数 約 130 人	取組開始年度	平成27年～	平成27年～	

構成員	下本郷自治会・農家組合・平成の会(自治会員)・自治会以外(委託耕作者・学校法人)
-----	--

組織の概要

・狭山水系の一歩下流にある上原池の水で田を潤し米を作り、地域の東北方面に集中している畑では野菜等を作っています。

少子高齢化の流れの中、個人で田を耕作している人は約10人ほどで、約80%の田は専門業者に委託して耕作してもらっているのが現状です。

自治会が中心となって、水路泥上げ・ため池の草刈を実施。また、平成の会(次代の下本郷を背負う若者の会)の会員だけによる池の草刈等を行うことで、地域全体で農業や景観に関心を持つ様に意識付けをしています。

下本郷の美しい景観を守ろう

年2回上原池の草刈を実施しています。春は自治会員全員で、秋は平成の会員と数名の役員で草刈をしています。70%の自治会員(非農家も含む)がビバーを持っています。そこで全参加者分のビバーの替え刃か鎌のいずれかを会として購入し、活動で使用しています。このことを通じて地域住民に水土里会の目的・作業を意識してもらうことができました。



この日は小雨の降る日でした。自治会員が公民館に集合し挨拶・活動諸注意の後、各班ごと割り当てられた水路に向かい、鋤簾・鎌等水路の泥上げを実施しました。



28年度にハンマー式草刈機を購入しました。上原池の土手の平らな面の草刈が出来ます。草刈の作業軽減に役立っています。



池の土手下の草の対応と景観向上のため、平成の会で土づくり・植付け・除草等を行っています。次年度からはもっと広い花壇をつくるつもりです。